

# 米国ツイン・スターズ・ファンド —予想分配金提示型—

Aコース(為替ヘッジあり)

Bコース(為替ヘッジなし)

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／資産複合	
信託期間	2013年12月27日から2023年12月1日まで	
運用方針	信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要運用対象	米国ツイン・スターズ・ファンド—予想分配金提示型— Aコース(為替ヘッジあり) / Bコース(為替ヘッジなし)	ファンド・オブ・ファンズ方式で運用を行い、アライアンス・バーンスタイン SICAV—セレクト USエクイティ・ポートフォリオ・クラスSシェアーズおよびアライアンス・バーンスタイン—アメリカン・インカム・ポートフォリオ・クラスSシェアーズを主要投資対象とします。
組入制限	米国ツイン・スターズ・ファンド—予想分配金提示型— Aコース(為替ヘッジあり) / Bコース(為替ヘッジなし)	株式への直接投資は行いません。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 投資信託証券への投資割合には制限を設けません。
分配方針	年4回(3月、6月、9月、12月の各2日。休業日の場合は翌営業日)決算を行い、原則として以下の方針に基づき分配を行います。 ①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とします。 ②収益分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。 ③収益分配にあてず信託財産内に留保した利益の運用については、特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。	

## 運用報告書(全体版)

第38期(決算日 2023年6月2日)

第39期(決算日 2023年9月4日)

### 受益者のみなさまへ

平素は「米国ツイン・スターズ・ファンド—予想分配金提示型—Aコース(為替ヘッジあり) / Bコース(為替ヘッジなし)」にご投資いただき、厚くお礼申し上げます。

さて、当ファンドは、第38期から第39期までの決算を行いましたので、当期間の運用状況につきましてご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

**MYAM** 明治安田アセットマネジメント株式会社

東京都千代田区大手町二丁目3番2号  
ホームページ <https://www.myam.co.jp/>

〈運用報告書のお問い合わせ先〉

サポートデスク 0120-565787

(受付時間：営業日の午前9時～午後5時)

## Aコース（為替ヘッジあり）

## ○最近5作成期の運用実績

作成期	決算期	基準 (分配落)	準 価 額			投資信託 組入比	純 資 産 総 額
			税 分	込 配	騰 落 率		
		円		円	%	%	百万円
第16作成期	30期(2021年6月2日)	10,996		300	5.1	97.7	334
	31期(2021年9月2日)	11,116		300	3.8	97.3	346
第17作成期	32期(2021年12月2日)	10,794		300	△0.2	98.4	337
	33期(2022年3月2日)	10,233		250	△2.9	97.7	324
第18作成期	34期(2022年6月2日)	9,653		0	△5.7	98.4	302
	35期(2022年9月2日)	9,247		0	△4.2	100.8	275
第19作成期	36期(2022年12月2日)	9,298		0	0.6	90.9	267
	37期(2023年3月2日)	8,945		0	△3.8	101.7	243
第20作成期	38期(2023年6月2日)	9,129		0	2.1	100.6	241
	39期(2023年9月4日)	9,190		0	0.7	100.1	209

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 当ファンドはファンド・オブ・ファンズ方式により、米国を中心とする株式等、および米ドル建ての公社債等に投資を行います。運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数は設けておりません。

## ○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基 準	価 額		投資信託 組入比
			騰 落 率	率	
第38期	(期 首) 2023年3月2日	円		%	%
	3月末	8,945		—	101.7
	4月末	9,016		0.8	96.0
	5月末	9,138		2.2	100.2
	(期 末) 2023年6月2日	9,097		1.7	101.2
第39期	(期 首) 2023年6月2日	円		%	%
	6月末	9,129		—	100.6
	7月末	9,129		—	100.6
	8月末	9,192		0.7	101.2
	(期 末) 2023年9月4日	9,327		2.2	97.2
	8月末	9,197		0.7	99.9
	(期 末) 2023年9月4日	9,190		0.7	100.1

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドはファンド・オブ・ファンズ方式により、米国を中心とする株式等、および米ドル建ての公社債等に投資を行います。運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数は設けておりません。

## Bコース（為替ヘッジなし）

## ○最近5作成期の運用実績

作成期	決算期	基準 (分配落)	標準 価 額			投資信託 組入比	純資 産額
			税分	込配	み金 期騰落 中率		
第16作成期	30期(2021年6月2日)	円 11,233		円 350	% 7.9	% 98.2	百万円 2,203
	31期(2021年9月2日)	11,357		350	4.2	97.8	2,153
第17作成期	32期(2021年12月2日)	11,288		350	2.5	97.9	2,087
	33期(2022年3月2日)	10,860		300	△1.1	98.0	1,974
第18作成期	34期(2022年6月2日)	11,243		350	6.7	98.2	2,088
	35期(2022年9月2日)	11,321		350	3.8	95.1	2,095
第19作成期	36期(2022年12月2日)	10,851		300	△1.5	96.5	2,221
	37期(2023年3月2日)	10,371		250	△2.1	97.0	1,927
第20作成期	38期(2023年6月2日)	10,698		250	5.6	96.2	1,993
	39期(2023年9月4日)	11,179		300	7.3	95.4	1,954

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 当ファンドはファンド・オブ・ファンズ方式により、米国を中心とする株式等、および米ドル建ての公社債等に投資を行います。運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数は設けておりません。

## ○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基 準	価 額		投資信託 組入比
			騰 落	率	
第38期	(期 首) 2023年3月2日	円 10,371		% —	% 97.0
	3月末	10,301		△0.7	97.4
	4月末	10,530		1.5	97.6
	5月末	10,965		5.7	95.6
	(期 末) 2023年6月2日	10,948		5.6	96.2
第39期	(期 首) 2023年6月2日	10,698		—	96.2
	6月末	11,270		5.3	99.5
	7月末	11,182		4.5	98.7
	8月末	11,475		7.3	94.5
	(期 末) 2023年9月4日	11,479		7.3	95.4

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドはファンド・オブ・ファンズ方式により、米国を中心とする株式等、および米ドル建ての公社債等に投資を行います。運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数は設けておりません。

## Aコース（為替ヘッジあり）

### ○投資信託証券の組入比率

作成期	決算期	株式ファンド AB SICAV I Select US CL-S	債券ファンド AB FCP I American Income Portfolio CL-S
第16作成期	30期(2021年6月2日)	59.6	38.1
	31期(2021年9月2日)	55.4	41.8
第17作成期	32期(2021年12月2日)	49.0	49.5
	33期(2022年3月2日)	46.4	51.3
第18作成期	34期(2022年6月2日)	42.2	56.2
	35期(2022年9月2日)	40.5	60.3
第19作成期	36期(2022年12月2日)	38.3	52.6
	37期(2023年3月2日)	43.2	58.5
第20作成期	38期(2023年6月2日)	41.0	59.6
	39期(2023年9月4日)	47.6	52.4

(注) 純資産総額比。

## Bコース（為替ヘッジなし）

### ○投資信託証券の組入比率

作成期	決算期	株式ファンド AB SICAV I Select US CL-S	債券ファンド AB FCP I American Income Portfolio CL-S
第16作成期	30期(2021年6月2日)	59.9	38.3
	31期(2021年9月2日)	55.7	42.1
第17作成期	32期(2021年12月2日)	48.7	49.2
	33期(2022年3月2日)	46.5	51.4
第18作成期	34期(2022年6月2日)	42.2	56.1
	35期(2022年9月2日)	38.2	56.9
第19作成期	36期(2022年12月2日)	40.7	55.8
	37期(2023年3月2日)	41.2	55.8
第20作成期	38期(2023年6月2日)	39.3	56.9
	39期(2023年9月4日)	45.4	50.0

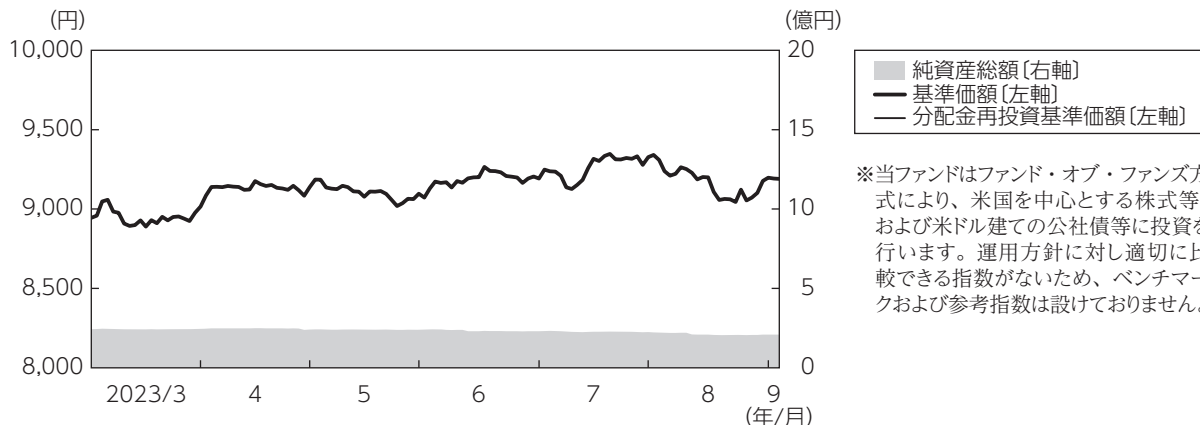
(注) 純資産総額比。

※米国ツイン・スターズ・ファンド 予想分配金提示型は、アライアンス・バーンスタイン SICAV-セレクトUSエクイティ・ポートフォリオ・クラスSシェアーズ：株式ファンド（以下「米国セレクト」ということがあります。）およびアライアンス・バーンスタイン - アmerican・インカム・ポートフォリオ・クラスSシェアーズ：債券ファンド（以下「アメリカン・インカム」ということがあります。）に投資しております。

※AB SICAV I Select US CL-Sは米国セレクト、AB FCP I American Income Portfolio CL-Sはアメリカン・インカムです。

## 運用経過の説明

## ■ 基準価額等の推移 Aコース (為替ヘッジあり)



※当ファンドはファンド・オブ・ファンズ方式により、米国を中心とする株式等、および米ドル建ての公社債等に投資を行います。運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数は設けておりません。

第38期首(2023年3月2日):8,945円

第39期末(2023年9月4日):9,190円(既払分配金0円)

騰落率:2.7%(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は分配金実績があった場合、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

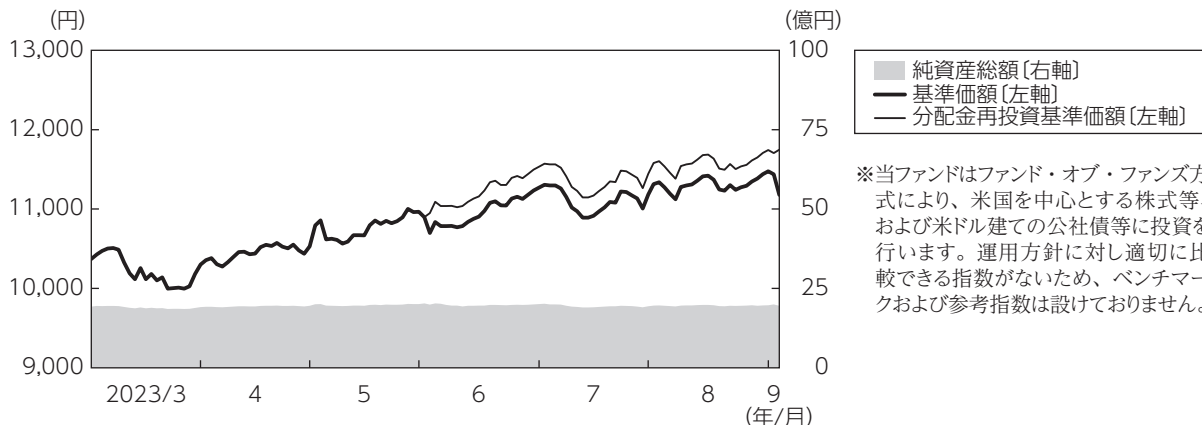
## ■ 基準価額の主な変動要因 Aコース (為替ヘッジあり)

ファンドの運用方針に従い米国セレクトおよびアメリカン・インカムを通じて、主として米国を中心とする株式等、および米ドル建ての公社債等へ投資を行いました。投資対象資産の価格変動等による基準価額の変動要因は以下の通りとなりました。

米国セレクトおよびアメリカン・インカムの基準価額(米ドルベース)が上昇したことがプラスに寄与し、当ファンドの基準価額(分配金再投資ベース)は上昇しました。

## 運用経過の説明

## ■ 基準価額等の推移 Bコース (為替ヘッジなし)



第38期首(2023年3月2日):10,371円

第39期末(2023年9月4日):11,179円(既払分配金550円)

騰落率:13.3%(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は分配金実績があった場合、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

## ■ 基準価額の主な変動要因 Bコース (為替ヘッジなし)

ファンドの運用方針に従い米国セレクトおよびアメリカン・インカムを通じて、主として米国を中心とする株式等、および米ドル建ての公社債等へ投資を行いました。投資対象資産の価格変動等による基準価額の変動要因は以下の通りとなりました。

米国セレクトおよびアメリカン・インカムの基準価額(米ドルベース)が上昇したことに加え、米ドルが円に対して上昇したことから、当ファンドの基準価額(分配金再投資ベース)は上昇しました。

## ■ 投資環境

### 外国株式

当作成期の米国株式相場は上昇しました。2023年3月には米国中堅銀行やスイス大手銀行を巡る信用リスクの高まりから下落する場面もありましたが、F R B（米連邦準備制度理事会）やスイス金融当局の迅速な対応を受けて反転し、4月以降はハイテク関連銘柄の良好な企業決算、米国景気の堅調さを背景に上昇基調となりました。8月には下旬の米国地区連銀主催の国際経済シンポジウムを控えていたことや、E C B（欧州中央銀行）による金融引き締め長期化も不安視されたことで軟調となりましたが、作成期末にかけては、再び上昇しました。

### 外国債券

当作成期の米国長期金利は小幅に上昇（債券価格は下落）しました。2023年3月には米国中堅銀行やスイス大手銀行を巡る信用リスクの高まりを受けて長期金利が一時的に低下する場面もありましたが、その後は米国景気の堅調さ、ピークアウトするも依然高い水準で推移するインフレ率、F R Bの慎重姿勢などから作成期末にかけて上昇基調となりました。

### 外国為替

当作成期の米ドルは円に対して上昇しました。当初、米国長期金利の上昇を背景に米ドル高で始まりましたが、2023年3月中旬には米国中堅銀行やスイス大手銀行を巡る信用リスクの高まりから安全資産選好が強まったことで円が買われ、下げる展開となりました。ただこの動きは長くは続かず、米国景気の堅調さにより、次第に金融引き締めの継続観測が広がり、6月にかけて上昇基調となりました。その後は日銀のイールドカーブ・コントロールの運用柔軟化観測、米国長期金利の一時的低下から下げる場面もありました。下げ幅は限定的で、作成期末にかけて米国長期金利の上昇を背景にじり高基調となりました。

## ■ 当該投資信託のポートフォリオ

### 米国ツイン・スターズ・ファンドー予想分配金提示型ーAコース（為替ヘッジあり）／Bコース（為替ヘッジなし）

作成期首の運用方針に基づき、投資信託証券の組入比率を高位に維持しました。「Aコース（為替ヘッジあり）」は、実質的な組入外貨建資産について、円を対貨とする為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図りました。

作成期首より投資対象ファンドであるアメリカン・インカム（組入比率を米国セレクトより高めとし、2023年7月にかけて高く維持しましたが、8月以降は米国セレクトの組入比率を若干引き上げました。

なお、投資対象ファンドの運用および組入比率の助言は、アライアンス・バーンスタインが行っています。

### 米国セレクト

作成期首の運用方針に基づき、米国を中心とする金融商品取引所に上場または店頭登録されている株式（米国預託証券（ADR）を含みます）に投資し、中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行いました。

当作成期は、2023年3月中旬の米国中堅銀行の経営破綻など、景気の悪化が顕在化するのではないかと懸念もあったことから、業種選択においては、情報技術の組入比率を引き続き抑制気味とし、資本財・サービス、エネルギーの組入比率を高め、一般消費財・サービスの組入比率を低めとしましたが、インフレ率にピークアウトの兆しがみられたことから情報技術の組入比率を徐々に高めました。銘柄選択においては、金融政策の転換により市場が好転するまでの間、優良銘柄の選別に注力しました。

米国セレクトの基準価額は上昇しました。

基準価額の変動にプラスに寄与した銘柄、マイナスに影響した銘柄は次の通りです。

#### （プラスに寄与した銘柄）

マイクロソフト、エヌビディア、アップル等

#### （マイナスに影響した銘柄）

チャールズ・シュワブ、フィフス・サード・バンコープ、ウェルズ・ファーゴ等



## 【組入上位10銘柄】

(2023年2月末)

銘柄名	業種(GICS分類)	組入比率(%)
パークシャー・ハサウェイ	金融	6.3
アップル	情報技術	5.8
マイクロソフト	情報技術	5.0
ペプシコ	生活必需品	3.0
ユナイテッドヘルス・グループ	ヘルスケア	3.0
ビザ	情報技術	2.9
エクソンモービル	エネルギー	2.9
ハネウェルインターナショナル	資本財・サービス	2.8
レイセオン・テクノロジーズ	資本財・サービス	2.7
アルファベット	コミュニケーションサービス	2.4

※組入比率は組入有価証券に対する比率です。

※作成期首・作成期末の各時点で入手し得る直近のポートフォリオの状況です。

(2023年8月末)

銘柄名	業種(GICS分類)	組入比率(%)
マイクロソフト	情報技術	6.2
アップル	情報技術	5.4
アルファベット	コミュニケーションサービス	4.8
パークシャー・ハサウェイ	金融	4.1
メタ・プラットフォームズ	コミュニケーションサービス	3.5
ハネウェルインターナショナル	資本財・サービス	2.9
エヌビディア	情報技術	2.9
エクソンモービル	エネルギー	2.9
アマゾン・ドット・コム	一般消費財・サービス	2.7
ユナイテッドヘルス・グループ	ヘルスケア	2.3

## アメリカン・インカム

作成期首の運用方針に基づき、米ドル建ての公社債等に投資し、元本の維持を図りながら、インカム収入の獲得を目指して運用を行いました。

当作成期は、デュレーションを長期化にしました。信用リスクに関しては、高利回り社債発行企業の財務状況は安定しており、引き続き、投資適格社債、エマージング債とともに銘柄分散を図り、リスクを回避しつつ継続保有しました。

アメリカン・インカムの基準価額は上昇しました。

## 【種別別組入比率】

(2023年2月末)

種類	組入比率(%)
米国国債	31.6
高利回り社債	24.2
投資適格社債	19.8
エマージング債	8.5
連邦政府機関債	4.4
商業用不動産担保証券	3.6
優先証券	2.7
モーゲージ担保証券	2.6
その他	2.6

※組入比率は組入有価証券に対する比率です。

※作成期首・作成期末の各時点で入手し得る直近のポートフォリオの状況です。

※作成期末のその他にはデリバティブが含まれています。

(2023年8月末)

種類	組入比率(%)
米国国債	39.0
高利回り社債	20.2
投資適格社債	15.3
エマージング債	7.0
エージェンシーMBS	4.7
連邦政府機関債	3.3
ローン担保証券	2.1
商業用不動産担保証券	2.1
その他	6.4

## ■ 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドはファンド・オブ・ファンズ方式により、米国を中心とする株式等、および米ドル建ての公社債等に投資を行います。当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数は設けておりません。

## ■ 分配金

- ・ 収益分配金については、分配対象額の水準、基準価額水準等を勘案し、1万口当たり次表の通り分配を実施しました。
- ・ 収益分配にあらず信託財産内に留保した利益の運用については、特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

### 分配原資の内訳

#### 〔Aコース（為替ヘッジあり）〕

(単位：円・%、1万口当たり、税引前)

項目	第38期	第39期
	2023年3月3日～ 2023年6月2日	2023年6月3日～ 2023年9月4日
当期分配金	—	—
(対基準価額比率)	—	—
当期の収益	—	—
当期の収益以外	—	—
翌期繰越分配対象額	686	686

- (注1) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
- (注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

#### 〔Bコース（為替ヘッジなし）〕

(単位：円・%、1万口当たり、税引前)

項目	第38期	第39期
	2023年3月3日～ 2023年6月2日	2023年6月3日～ 2023年9月4日
当期分配金	250	300
(対基準価額比率)	2,284	2,613
当期の収益	190	300
当期の収益以外	59	—
翌期繰越分配対象額	763	1,207

- (注1) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
- (注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針

### 米国ツイン・スターズ・ファンドー予想分配金提示型ーAコース（為替ヘッジあり）／Bコース（為替ヘッジなし）

引き続き、投資信託証券の組入比率を高位に維持します。「Aコース（為替ヘッジあり）」は、実質的な組入外貨建資産について、円を対貨とする為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。

米国セレクトとアメリカン・インカムの組入比率については当面、アメリカン・インカムを若干高めの水準とします。

なお、投資対象ファンドの運用および組入比率の助言は、アライアンス・バーンスタインが行います。

### 米国セレクト

引き続き、米国を中心とする金融商品取引所に上場または店頭登録されている株式（米国預託証券（ADR）を含みます）に投資し、中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。

市場環境に応じて銘柄の多様化を図るとともに、成長が見込まれる魅力的な企業を発掘していきます。

### アメリカン・インカム

引き続き、米ドル建ての公社債等に投資し、元本の維持を図りながら、インカム収入の獲得を目指して運用を行います。

社債などクレジット市場の債券と米国債との配分に留意します。また、銘柄の多様化、リスク分散を図りつつ、機動的にデュレーション調整を行います。

## Aコース（為替ヘッジあり）

## ○1万口当たりの費用明細

（2023年3月3日～2023年9月4日）

項 目	第38期～第39期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	97	1.062	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×作成期末の信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(57)	(0.626)	ファンドの運用、基準価額の算出、法定書類の作成等の対価
（ 販 売 会 社 ）	(38)	(0.419)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（ 受 託 会 社 ）	( 2 )	(0.017)	ファンド財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	2	0.017	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	( 1 )	(0.011)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	( 0 )	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	( 0 )	(0.003)	信託事務の処理等に要する諸費用、信託財産に関する租税等
合 計	99	1.079	
作成期間の平均基準価額は、9,161円です。			

(注1) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

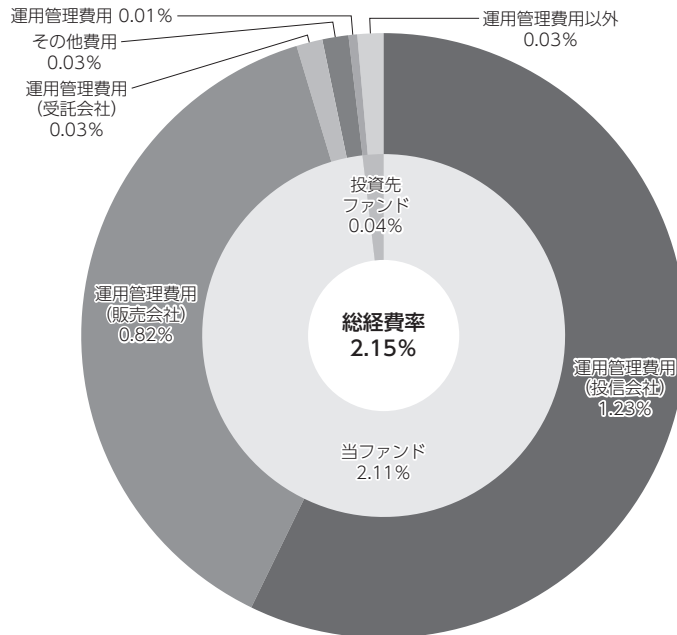
(注5) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

## Aコース (為替ヘッジあり)

## (参考情報)

## ○総経費率

作成期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間の平均受益権口数に作成期間の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.15%です。



(単位: %)

総経費率(①+②+③)	2.15
①当ファンドの費用の比率	2.11
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.01
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.03

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ○売買及び取引の状況

(2023年3月3日～2023年9月4日)

## 投資信託証券

銘	柄	第38期～第39期			
		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外 国	アメリカ	口	千米ドル	口	千米ドル
	AB SICAV I Select US CL-S	961	66	3,767	244
	AB FCP I American Income Portfolio CL-S	2,457	50	18,273	372
	小 計	3,418	116	22,041	616

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切り捨て。

## ○利害関係人との取引状況等

(2023年3月3日～2023年9月4日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2023年9月4日現在)

## ファンド・オブ・ファンズが組入れた外貨建ファンドの明細

銘	柄	第19作成期末	第20作成期末			
		口 数	口 数	評 価 額		比 率
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)		口	口	千米ドル	千円	%
AB SICAV I Select US CL-S		12,795	9,989	682	99,769	47.6
AB FCP I American Income Portfolio CL-S		52,501	36,684	750	109,785	52.4
合 計		65,296	46,674	1,432	209,555	100.1

(注1) 邦貨換算金額は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 単位未満は切り捨て。

(注3) 比率は、純資産総額に対する評価額の比率。

## ○投資信託財産の構成

(2023年9月4日現在)

項 目	第20作成期末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	109,785	48.9
投資証券	99,769	44.5
コール・ローン等、その他	14,795	6.6
投資信託財産総額	224,349	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切り捨て。

(注2) 当作成期末における外貨建純資産(209,555千円)の投資信託財産総額(224,349千円)に対する比率は93.4%です。

(注3) 外貨建資産は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当作成期末における邦貨換算レートは1米ドル=146.27円です。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第38期末	第39期末
	2023年6月2日現在	2023年9月4日現在
	円	円
(A) 資産	481,213,984	437,031,741
コール・ローン等	7,375,106	8,650,395
投資信託受益証券(評価額)	143,930,089	109,785,894
投資証券(評価額)	99,188,975	99,769,466
未収入金	230,719,814	218,825,969
未収利息	—	17
(B) 負債	239,573,035	227,593,539
未払金	238,284,997	226,383,374
未払解約金	58	1,123
未払信託報酬	1,284,196	1,205,900
未払利息	14	—
その他未払費用	3,770	3,142
(C) 純資産総額(A-B)	241,640,949	209,438,202
元本	264,685,901	227,896,351
次期繰越損益金	△ 23,044,952	△ 18,458,149
(D) 受益権総口数	264,685,901口	227,896,351口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,129円	9,190円

(注1) 当ファンドの第38期首元本額は272,164,000円、第38～39期中追加設定元本額は2,747,471円、第38～39期中一部解約元本額は47,015,120円です。

(注2) 1口当たり純資産額は、第38期0.9129円、第39期0.9190円です。

(注3) 純資産総額が元本額を下回っており、その額は第38期23,044,952円、第39期18,458,149円です。

## ○損益の状況

項 目	第38期		第39期	
	2023年3月3日～ 2023年6月2日		2023年6月3日～ 2023年9月4日	
	円		円	
(A) 配当等収益	△	328	△	1,542
受取利息		—		39
支払利息	△	328	△	1,581
(B) 有価証券売買損益		6,153,840		2,612,554
売買益		33,228,552		25,281,486
売買損		△27,074,712		△22,668,932
(C) 信託報酬等	△	1,297,640	△	1,232,637
(D) 当期損益金(A+B+C)		4,855,872		1,378,375
(E) 前期繰越損益金	△	32,664,991	△	23,850,750
(F) 追加信託差損益金		4,764,167		4,014,226
(配当等相当額)	(	9,662,573)	(	8,348,037)
(売買損益相当額)	(△	4,898,406)	(△	4,333,811)
(G) 計(D+E+F)	△	23,044,952	△	18,458,149
(H) 収益分配金		0		0
次期繰越損益金(G+H)	△	23,044,952	△	18,458,149
追加信託差損益金		4,764,167		4,014,226
(配当等相当額)	(	9,662,573)	(	8,348,037)
(売買損益相当額)	(△	4,898,406)	(△	4,333,811)
分配準備積立金		8,511,390		7,299,871
繰越損益金	△	36,320,509	△	29,772,246

- (注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。
- (注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬等に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
- (注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
- (注4) 第38期計算期間末における費用控除後の配当等収益(0円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(9,662,573円)および分配準備積立金(8,511,390円)より分配対象収益は18,173,963円(10,000口当たり686円)ですが、当計算期間に分配した金額はありません。
- (注5) 第39期計算期間末における費用控除後の配当等収益(0円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(8,348,037円)および分配準備積立金(7,299,871円)より分配対象収益は15,647,908円(10,000口当たり686円)ですが、当計算期間に分配した金額はありません。



## Bコース（為替ヘッジなし）

## ○1万口当たりの費用明細

（2023年3月3日～2023年9月4日）

項 目	第38期～第39期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
	円	%	
(a) 信 託 報 酬	116	1.062	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×作成期末の信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	（ 69 ）	（ 0.626 ）	ファンドの運用、基準価額の算出、法定書類の作成等の対価
（ 販 売 会 社 ）	（ 46 ）	（ 0.419 ）	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（ 受 託 会 社 ）	（ 2 ）	（ 0.017 ）	ファンド財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	0	0.004	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	（ 0 ）	（ 0.001 ）	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	（ 0 ）	（ 0.003 ）	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	（ 0 ）	（ 0.001 ）	信託事務の処理等に要する諸費用、信託財産に関する租税等
合 計	116	1.066	
作成期間の平均基準価額は、10,953円です。			

(注1) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

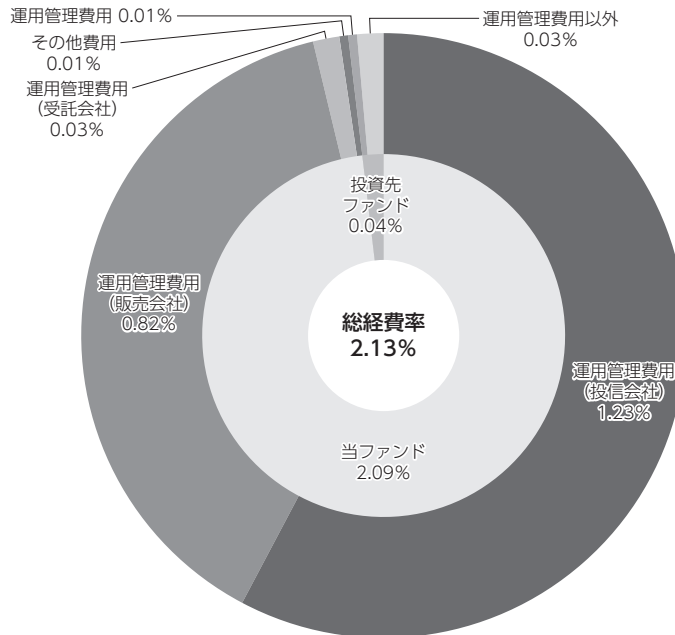
(注5) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

## Bコース (為替ヘッジなし)

## (参考情報)

## ○総経費率

作成期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間の平均受益権口数に作成期間の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.13%です。



(単位: %)

総経費率(①+②+③)	2.13
①当ファンドの費用の比率	2.09
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.01
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.03

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ○売買及び取引の状況

(2023年3月3日～2023年9月4日)

## 投資信託証券

銘	柄	第38期～第39期			
		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外 国	アメリカ	口	千米ドル	口	千米ドル
	AB SICAV I Select US CL-S	12,329	841	20,072	1,309
	AB FCP I American Income Portfolio CL-S	28,210	574	98,408	2,006
	小 計	40,540	1,415	118,480	3,315

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切り捨て。

## ○利害関係人との取引状況等

(2023年3月3日～2023年9月4日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2023年9月4日現在)

## ファンド・オブ・ファンズが組入れた外貨建ファンドの明細

銘	柄	第19作成期末	第20作成期末			
		口 数	口 数	評 価 額		比 率
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)		口	口	千米ドル	千円	%
AB SICAV I Select US CL-S		96,666	88,923	6,071	888,109	45.4
AB FCP I American Income Portfolio CL-S		396,464	326,266	6,675	976,413	50.0
合 計		493,131	415,190	12,747	1,864,522	95.4

(注1) 邦貨換算金額は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 単位未満は切り捨て。

(注3) 比率は、純資産総額に対する評価額の比率。

## ○投資信託財産の構成

(2023年9月4日現在)

項 目	第20作成期末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	976,413	47.1
投資証券	888,109	42.8
コール・ローン等、その他	209,279	10.1
投資信託財産総額	2,073,801	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切り捨て。

(注2) 当作成期末における外貨建純資産 (1,864,522千円) の投資信託財産総額 (2,073,801千円) に対する比率は89.9%です。

(注3) 外貨建資産は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当作成期末における邦貨換算レートは1米ドル=146.27円です。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第38期末	第39期末
	2023年6月2日現在	2023年9月4日現在
	円	円
(A) 資産	2,058,032,642	2,182,864,168
コール・ローン等	71,788,649	154,718,300
投資信託受益証券(評価額)	1,134,321,453	976,413,681
投資証券(評価額)	782,427,540	888,109,015
未収入金	69,495,000	163,622,866
未収利息	—	306
(B) 負債	64,758,095	228,220,188
未払金	—	163,622,865
未払収益分配金	46,581,217	52,456,200
未払解約金	7,926,289	1,563,638
未払信託報酬	10,220,928	10,549,758
未払利息	269	—
その他未払費用	29,392	27,727
(C) 純資産総額(A-B)	1,993,274,547	1,954,643,980
元本	1,863,248,700	1,748,540,001
次期繰越損益金	130,025,847	206,103,979
(D) 受益権総口数	1,863,248,700口	1,748,540,001口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,698円	11,179円

(注1) 当ファンドの第38期首元本額は1,858,652,885円、第38～39期中追加設定元本額は204,257,998円、第38～39期中一部解約元本額は314,370,882円です。

(注2) 1口当たり純資産額は、第38期1.0698円、第39期1.1179円です。

## ○損益の状況

項 目	第38期		第39期	
	2023年3月3日～ 2023年6月2日		2023年6月3日～ 2023年9月4日	
	円		円	
(A) 配当等収益	△	1,898	△	10,013
受取利息		—		418
支払利息	△	1,898	△	10,431
(B) 有価証券売買損益		114,795,692		140,787,956
売買益		117,704,239		144,483,764
売買損	△	2,908,547	△	3,695,808
(C) 信託報酬等	△	10,270,432	△	10,586,926
(D) 当期損益金(A+B+C)		104,523,362		130,191,017
(E) 前期繰越損益金	△	30,046,367		24,388,118
(F) 追加信託差損益金		102,130,069		103,981,044
(配当等相当額)	(	114,276,965)	(	109,031,537)
(売買損益相当額)	(△	12,146,896)	(△	5,050,493)
(G) 計(D+E+F)		176,607,064		258,560,179
(H) 収益分配金	△	46,581,217	△	52,456,200
次期繰越損益金(G+H)		130,025,847		206,103,979
追加信託差損益金		102,130,069		103,981,044
(配当等相当額)	(	114,276,965)	(	109,031,537)
(売買損益相当額)	(△	12,146,896)	(△	5,050,493)
分配準備積立金		27,897,676		102,132,948
繰越損益金	△	1,898	△	10,013

- (注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。
- (注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬等に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
- (注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
- (注4) 第38期計算期間末における費用控除後の配当等収益(0円)、費用控除後の有価証券等損益額(35,544,768円)、信託約款に規定する収益調整金(114,276,965円)および分配準備積立金(38,934,125円)より分配対象収益は188,755,858円(10,000口当たり1,013円)であり、うち46,581,217円(10,000口当たり250円)を分配金額としております。
- (注5) 第39期計算期間末における費用控除後の配当等収益(0円)、費用控除後の有価証券等損益額(130,199,368円)、信託約款に規定する収益調整金(109,031,537円)および分配準備積立金(24,389,780円)より分配対象収益は263,620,685円(10,000口当たり1,507円)であり、うち52,456,200円(10,000口当たり300円)を分配金額としております。

## ○分配金のお知らせ

	第38期	第39期
1 万口当たり分配金 (税込み)	250円	300円

※分配金をお支払する場合

分配金は、各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

※分配金を再投資する場合

お手取り分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいてみなさまの口座に繰入れて再投資いたしました。

## 課税上の取扱いについて

- 分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、普通分配金と元本払戻金（特別分配金）に分かれます。分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額普通分配金となります。また、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分に相当する金額が元本払戻金（特別分配金）、残りの部分が普通分配金となります。
- 元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- 課税上の取扱いの詳細については、税務署等にお問い合わせください。

**《組入投資信託証券の内容》**

当ファンドの運用報告書作成時点において入手可能な直前計算期間の年次報告書（または半期報告書）をもとに作成しております。なお、当ファンドは「アライアンス・バーンスタイン SICAVー セレクトUSエクイティ・ポートフォリオ・クラスSシェアーズ」および「アライアンス・バーンスタインー アメリカン・インカム・ポートフォリオ・クラスSシェアーズ」に投資しておりますが、次頁の内容は各投資信託証券におけるすべてのクラスを合算しております。

## アライアンス・バーンスタイン SICAVー セレクトUSエクイティ・ポートフォリオ

## ◎組入資産明細表

組入上位10銘柄

2022年11月30日現在

	銘柄名	業種	組入比率 (%)
1	パークシャー・ハサウェイ	金融	6.1
2	マイクロソフト	情報技術	5.5
3	アルファベット	コミュニケーション・サービス	5.3
4	ペプシコ	生活必需品	4.2
5	アップル	情報技術	4.1
6	ジョンソン・エンド・ジョンソン	ヘルスケア	3.1
7	ユナイテッドヘルス・グループ	ヘルスケア	3.0
8	ハネウェルインターナショナル	資本財・サービス	3.0
9	ビザ	情報技術	2.7
10	レイセオン・テクノロジーズ	資本財・サービス	2.5

(注) 組入比率は組入有価証券に対する比率です。



## 運用および純資産変動計算書

2022年11月30日に終了した期間  
(単位：米ドル)**投資収益**

配当金、純額	24,003,026
利息	817,853
スワップ収益	0
貸付証券収益、純額	0
	<hr/>
	24,820,879

**費用**

管理報酬	20,718,884
スワップに係る費用	0
名義書換代行報酬	604,320
管理会社報酬	527,004
税金	585,338
専門家報酬	155,764
販売報酬	0
成功報酬	0
保管報酬	0
会計および管理事務代行報酬	201,175
印刷費	10,180
創業費	0
その他	140,688
	<hr/>
	22,943,353
費用払戻または権利放棄	0
純費用	22,943,353
投資純（損）益	<hr/>
	1,877,526

**実現（損）益**

投資有価証券、先物為替予約、スワップ、金融先物契約、オプションおよび通貨	(169,335,263)
源泉税	0

**未実現（損）益の変動**

投資有価証券	178,245,953
金融先物契約	0
先物為替予約	(1,575,708)
スワップ	0
売建オプション	0
運用実績	<hr/>
	9,212,508

**ファンド証券取引**

増（減）額	116,958,838
分配金	0

**純資産額**

期首	4,162,881,017
為替換算調整	0
期末	<hr/>
	4,289,052,363

アライアンス・バーンスタイン - アメリカン・インカム・ポートフォリオ
-------------------------------------

## ◎組入資産明細表

組入上位10銘柄

2023年2月28日現在

	銘柄名	利率 (%)	償還日	組入比率 (%)
1	米国国債	6.125	2027年11月15日	5.2
			2029年8月15日	
2	米国国債	3.125	2027年8月31日	4.6
3	米国国債	6.250	2030年5月15日	4.6
4	米国国債	4.125	2025年1月31日	3.3
			2032年11月15日	
5	ファニーメイ	6.625	2030年11月15日	2.2
6	米国国債	3.875	2027年11月30日	1.5
			2027年12月31日	
7	米国国債	7.625	2025年2月15日	1.2
8	ジニーメイ	3.000	TBA	1.1
9	米国国債	3.375	2042年8月15日	1.0
10	ファニーメイ	7.125	2030年1月15日	0.9

(注) 組入比率は組入有価証券に対する比率です。

## 運用および純資産変動計算書

2023年2月28日に終了した期間  
(単位：米ドル)

## 投資収益

利息	492,633,697
スワップ収益	63,883,776
配当金、純額	15,201,281
貸付証券収益、純額	0
	<hr/>
	571,718,754

## 費用

管理報酬	80,638,559
管理会社報酬	7,260,054
スワップに係る費用	7,368,699
名義書換代行報酬	3,849,732
税金	3,635,795
販売報酬	2,654,613
専門家報酬	522,057
保管報酬	424,660
会計および管理事務代行報酬	201,113
印刷費	121,632
その他	534,747
	<hr/>
	107,211,661
費用払戻または権利放棄	(31)
純費用	<hr/>
	107,211,630
投資純（損）益	<hr/>
	464,507,124

## 実現（損）益

投資有価証券、先物為替予約、スワップ、金融先物契約、オプションおよび通貨 源泉税	(513,454,063) 0
---	--------------------

## 未実現（損）益の変動

投資有価証券	(204,569,914)
金融先物契約	8,390,300
先物為替予約	(21,372,718)
スワップ	173,411,152
売建オプション	0
運用実績	<hr/>
	(93,088,119)

## ファンド証券取引

増（減）額	2,414,313,900
分配金	(400,479,510)

## 純資産額

期首	16,566,716,085
為替換算調整	0
期末	<hr/>
	18,487,462,356